

全壁側腹膜切除術を施行した進行卵巣癌症例に対する臨床病理学的検討

1. 研究の対象

2019 年 4 月～2025 年 9 月に国立がん研究センター東病院で上皮性卵巣癌（卵管癌、原発性腹膜癌を含む）に対して全壁側腹膜切除術が施行された方の中で、包括的同意が得られており、かつ初回診断時に 18 歳以上である方を対象としています。

2. 研究目的・方法

研究目的：全壁側腹膜切除術を施行した上皮性卵巣癌症例を対象とし、診療録および病理組織検体を用いて解析を行い、予後に関わる臨床病理学的因子を明らかにすることを目的としています。

研究方法：研究対象者の診療録から治療歴などの診療情報を抽出し、解析を行います。また、診療目的で得られた手術・生検時残余検体を用いて、試料解析・免疫染色を行います。収集されたデータを用いて統計解析・評価を行います。

研究実施期間：研究許可日～2030 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、既往歴、病歴、治療歴、治療効果、生存状態など

試料：診療目的で得られた手術・生検時残余検体

研究対象者の個人情報（研究用番号）は研究用番号を付し加工を行います。研究用番号と個人識別情報（氏名、カルテ番号）を結ぶ対応表は、研究事務局が管理し、加工した状態のデータのみを収集します。研究責任者は外部とは独立したパーソナルコンピュータでデータを管理し、研究責任者及び研究事務局しか知らないパスワードを設定し、コンピュータをセキュリティーの厳重な部屋に保管することにより、情報漏洩に対する安全対策を講じます。また、研究結果の報告、発表に関しては個人を特定される形では行いません。

4. 試料・情報の授受

本研究で用いた試料・情報を国内外の機関で実施する将来の医学的研究のために、研究終了後も大切に保管させていただきます。新たな研究に用いる際には、国内外の規制に則り、あらためて研究計画書を作成して研究倫理審査委員会の承認や研究機関の長の許可を受ける等、適正な手続を踏んだ上で行います。

なお、新たな研究の概要・研究機関については、新たな研究に関わる機関（試料・情報の授受を行う機関すべて）公式ホームページ等にて情報公開いたします。

- ・国立がん研究センターが参加する研究に関する公開情報

https://www.ncc.go.jp/jp/about/research_promotion/study/zisshi.html

5. 研究組織・研究責任者

研究機関名	所属	研究者氏名
国立がん研究センター東病院	病理・臨床検査科	長峯 理子（研究責任者）
	婦人科	大西 純貴（研究事務局）
	婦人科	田部 宏
	病理・臨床検査科	石井 源一郎
	腫瘍内科	向原 徹
	遺伝子診療部門	桑田 健
	婦人科	高橋 一彰
	腫瘍内科	原野 謙一
	腫瘍内科	中島 裕理
	腫瘍内科	福田 美佐緒
	病理・臨床検査科	小原 淳
	婦人科	松田 祐奈
	婦人科	野田 沙紀
	婦人科	濱田 倫太郎

6. お問い合わせ等

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

試料・情報が研究に用いられることについて研究対象者の方もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センター東病院

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

TEL 04-7133-1111（代表）

研究事務局：大西 純貴

研究責任者：長峯 理子